

# 第 1 2 回千葉基礎・臨床免疫セミナー

千葉県内の基礎・臨床免疫学領域の研究者、大学院生、研修医、医学生を対象に、下記の通り、セミナーを開催させていただきます。

今回は、**Department of Medical Microbiology and Immunology, University of Toledo College of Medicine, Toledo, Ohio, USA,**  
**Professor and Chairman Akira Takashima** 先生をお招きします。

● 日 時：平成 22 年 11 月 18 日（木） 18:00 より

● 会 場：千葉大学医学部本館 1 階 第一講義室

【学術紹介】18:00～18:10

帝人ファーマ株式会社「 献血ベニロン-I 静注用 」

【特別講演】18:10～19:10

司会 千葉大学大学院医学研究院 皮膚科学 教授 松江 弘之 先生

## Discovery of a new dendritic cell subset, termed “gr-DC”, derived from an immature granulocyte population

Department of Medical Microbiology and Immunology, University of Toledo College of Medicine, Toledo, Ohio, USA, **Professor and Chairman Akira Takashima**

高島明先生は、テキサス大学サウスウエスタンメディカルセンターで、マウス皮膚の $\gamma\delta$ T 細胞の研究で多くの業績を挙げた後、樹状細胞（DC）の研究でも、皮膚から初めて樹状細胞株を樹立し、多くの機能を解析してきました。例えば、真菌の感染防御で重要なデクチンは、先生が命名者ですし、キラーDC もそうです。Gene gun による DC 免疫療法、DC バイオセンサー、DC による新薬のスクリーニングなどの研究も手掛けています。また、表皮内の DC、ランゲルハンス細胞のリアルタイムの動きを世界で初めて見せてくれました。トレド大学に移られてからも、新しい発見を数多くされています。今回は、炎症の場で好中球が DC の様にも機能するという新発見についてお話しくださいます。先生のプレゼンテーションの仕方は定評があり、その意味でも勉強になると思います。皆様是非ご参加下さい。（当番世話人 千葉大医学部皮膚科 松江弘之）

※ 当日、軽食をご用意いたしております

【共催】グローバルCOEプログラム/千葉基礎・臨床免疫セミナー  
/帝人ファーマ株式会社